

すべての 女性アスリートに ウェルビーイングの実現を — 先端的支援の取り組み —

スポーツ庁が委託する女性アスリートの育成・支援プロジェクトでは、トップ層やエリート層に対する成果は目覚ましい反面、ジュニア層や育成層への支援が限定的であるという課題が顕在化しています。この課題解決に取り組むために昨年度から「女性アスリートの課題解決型実践プログラム」では、新潟医療福祉大学、日本体育大学、立命館大学の3大学が採択されました。本シンポジウムでは、「女性アスリート支援プログラム」を受託するハイパフォーマンススポーツセンターもお招きし、4団体による2か年の取り組み状況と成果、今後の課題について議論を深めます。



Zoom webinar

2024.3.1 （日）

受付開始 15:20 ~

15:30-17:30

※インターネット接続ができるパソコン、タブレット、スマホ等をご用意のうえご参加ください
※事前登録をお願いします

参加無料

お申込みは
こちらから



主催 | 立命館大学スポーツ健康科学総合研究所
共催 | 新潟医療福祉大学、日本体育大学
協力 | ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）
一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI（KCAA）
一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）

<https://bit.ly/spo240301>

PROGRAM

15:30 開会挨拶 日比 謙一郎（スポーツ庁 競技スポーツ課長）

15:35 企画者挨拶 伊坂忠夫（立命館大学 副学長 / スポーツ健康科学総合研究所長）

15:40 「女性アスリートが抱える健康問題」

能瀬さやか（ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター
スポーツ科学・研究部 スポーツクリニック婦人科医）

16:00 各大学事業の成果報告と今後の課題

江玉睦明（新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 教授）

須永美歌子（日本体育大学 児童スポーツ教育学部 教授）

杉山敬（立命館大学 総合科学技術研究機構 助教）

白井克佳（ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター スポーツ科学・研究部 副主任研究員）

モデレーター：伊坂忠夫

16:40 パネルディスカッション

パネリスト： 能瀬さやか

江玉睦明

須永美歌子

杉山敬

白井克佳

モデレーター：伊坂忠夫

Go for
your goal.

17:25 閉会挨拶 伊坂忠夫

主催 | 立命館大学スポーツ健康科学総合研究所

共催 | 新潟医療福祉大学、日本体育大学

協力 | ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）、一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI（KCAA）
一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）

お問い合わせ | 立命館大学 BKCリサーチオフィス 担当：森・高須 TEL：077-561-2802 E-mail：spo-ins@st.ritsumei.ac.jp